

しんち

広報

3月1日現在

🏠	1.841世帯
👤	男女 4.099人
	女 4.434人
合計	8.539人

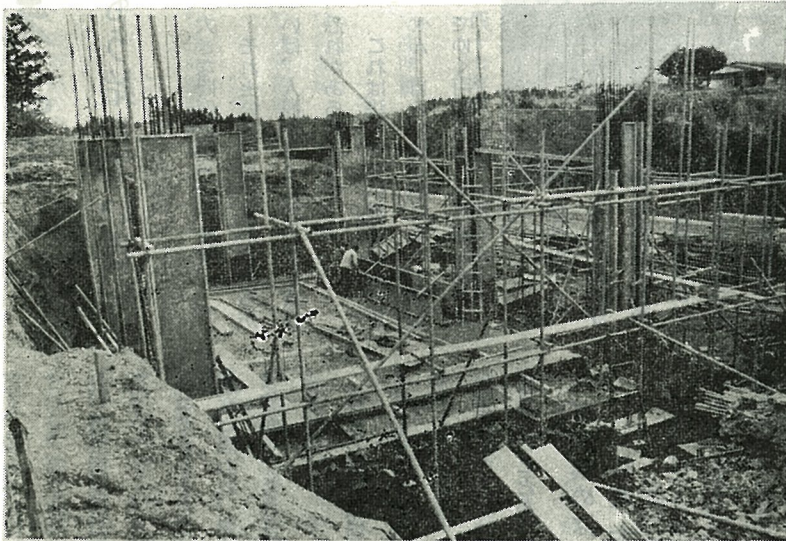
12号

47

3

常備消防の新地分署庁舎を着工

四月から活動



相馬地方市町村圏の構想によつて常備消防が四月から発足します。これに先がけ、新地分署の庁舎(百十三平方延)を中村土木の請負いで着工しました。

場所は、役場の南、国道沿いの所で、農業後継者センターと並んでいます。常備消防の新地分署の陣容は、職員十名(司令一、司令補一、士

長一、消防士七)で、設備は、消防ポンプ自動車一台、無線二(固定一、移動一)となつています。職員はすでに、福島の消防自動車学校で、訓練を受けており、四月からの活動をいまやおそしと待ちかまっています。

「観瀾の松」にきまる

福田小の松の名



福田小学校の庭に、太い一本の黒松があります。校舎はたびたび変わりましたが、松は同じ姿で風に枝を鳴らし、豊かな緑の葉をひからせながら、いつもこどもたちを見ています。

福田小学校は、明治十一年に正式に独立し、氏家晋氏が「観瀾校」と名づけたのですが、校舎、屋体、プールなど施設がすっかりできあがったのを機会に、この松を

いつまでも保存するため、松の名を一般から募りましたが、中里の荒保治さん、鉄炮町の斉藤真一さんなど七名の方により、「観瀾の松」と命名されました。なおこの松はいつだれが植えたのか各説がありますが、確かなことはわかりません。それがかえって、松の木のゆかしさを深めています。

とじておきましよう

ゴミを考えよう

戦争はもう始まっている

一人が一日当り出すゴミの量は、大きな問題となっています。六百から九百グラムといわれていますが、ゴミはたしかに生活の向上とともに年ごとに多くなっています。

これは決して笑話話ではありません。都会ですべて「ゴミ戦争」とよばれ、いまやゴミ処理は、最も



新地町でも、一日平均のゴミの量は約六百五十キログラムが出ています。これが、こうしたゴミの一部を、海岸や山の中に捨てるかたが、たいへん多くなっています。海岸のうち、とくに磯山、釣師、中磯、今泉などがひ

どく、清らかな自然の姿をよごしており、衛生的にもはえがむらがり、伝染病発生の原因にもなります。

ゴミがあると、公認のゴミ捨て場だと思われ、遠くから捨てにきますから、たちまちゴミの山ができます。

私たちの環境は、まず自ら清潔にする努力をする必要があります。公害防止の基本は、私たち自身が汚さないことから始まるのです。

ゴミ集めは 毎週木曜日

現在、町では相馬方部衛生組合によって毎週一回木曜日に集め、燃えるゴミは焼却して燃し、燃えないものは埋め立てなどに行ないます。

ゴミを集める対象にしている地域は、新地町、中島、釣師、大戸埜、中里(学校前)駒ヶ嶺町、新町、上町の各地域です。

この地域は、ゴミも多く、家が密集していて家庭での処理もむずかしいところです。

ゴミ集めについては、必ず当日きめられた場所に、密封しておいってください。

何日も前から置きっぱなしにしているかたがありますが、衛生上たいへんよくありません。

廃棄物は その人の責任

清掃法が全面的に改正され、「廃棄物の処理および清掃法に関する法律」が新たに施行になりました。この結果、事業などによって生じた廃棄物(廃油、家畜のふん尿など)は自らの責任で、処理しなければなりません。

これは飲食店などが出す不要物や、畜産農業による動物のふん尿もふくまれています。

四月から

廃棄物の処理および清掃に関する条例を施行

いままでは「清掃法」によって市街地を中心にして、汚物だけを目的に処理していましたが、生活の向上とともに、市街地だけではなくこの地域も、ゴミの廃棄物がふえており、これに対する根本的な対策をたてるため、これまでの「清掃条例」をなくし新しく「廃棄物の処理および清掃に関する条例」をつくることになったのです。



犬はつないで おきましょう

こんどの法律の改正で、一月一日から、犬はどこでも全部放し飼いはできなくなりました。必ずすつないでおくようにしましょう。

この新しい条例は、事業を行なっているかた(畜産なども含む)も、また一般のかたも、廃棄物をなくすように努力し、また処理ができないものは、下取りによる回収、共同処理をはからなければならぬとしています。

一般のかたの場合も、自分の住む場所や道路などについても清潔を保つようにすることとなります。

なお、町からのゴミ集めについては、いずれ区域を広げてゆく方針ですが、当分は、いままでの区域だけに限ります。

ことしの生産調整の目標をさぐる

五七八トンで昨年より減る

三月二日に、町の「米生産調整推進協議会」を開き、ことしの米の生産調整の推進、目標数量の部落別配分、予約限度数量の配分、稲作転換などについて協議を行ない基本的なものをきめました。

1. ことしの生産調整目標

目標数量 五七八トン(九、六三三俵)

換算面積 一三七ヘクタール

ことしの目標数量は、昨年の六三三トンから五五五トン少ない数量になりました。

▽ことしの目標、五七八トンの農家別配分は、昭和四十二年度と四十四年度の三カ年間の政府買入

▽需要量の内訳 (一)農家消費 三百八十萬トン

▽ことしの予約限度数量は二千五百八トン(四萬一千八百俵)とし、この農家別配分は、昭和四十二年と四十四年度三カ年間の政府買入れ実績数量割りに行ないます。

▽生産量 一千三百八十九萬二千トン

▽需要量 一千五百五十萬トン

▽生産調整数量 二百三十九萬二千トン

▽需要量の内訳 (一)農家消費 三百八十萬トン

農業者のみなさん

農業者年金に加入されましたか

この農業者年金は、全国の農業者の皆さんの長年の熱望によってできあがった制度で、農業者の方々の老後の福祉向上と農業の近代化を目的としています。

豊かな老後と明るい農村を目指して昭和四十六年一月から農業者年金基金は業務を開始しております。

現在約九万人の全国の農業者の方々が加入していますが、新地町では加入予定者七百四十人の内加入された方は三百六十五人となっています。

方針です。

▽三月二十二日から部落説明会

部落説明会は、三月二十二日から行ないます。

日程は、旬報でお知らせします。また、今後の日程は、農家から

の実施計画書は四月中旬までに出していただき、農政課において四月下旬に集計を終え、五月中旬に実施計画書を提出することになります。

○どんな人が加入するのか

五十五歳(五反歩)以上の農業経営主で国民年金に加入している五十五歳未満の人はすべて加入しなければなりません。

○そのほかどんな人が

国民年金に加入している五十五歳未満の人で、三十一歳以上五十五歳未満の農業経営主又は五十五歳以上の農業経営主の後継者

あなたも早く農業協同組合へ加入申込をしてください。相談問合せは 農業委員会又は農協へ



海山千里

▽「テレビを消さないで。今や日本人はすべて肥満児である。栄養のためではなくテレビの見過ぎによるテレビ肥満体なのである。」

▽「いったい日本の家庭で家族が全員そろって何分あるだろうか。夕食のときにせわしなくみんなが集ってすわったのに、顔だけはテレビの方を向いているのである。これが家族であろうか。」

▽母親が勉強しなさいと云っててもことはテレビの前から動かないいつまでも見ているべきではないと判断したら、ボタンとスイッチを切って泣こうとわめこうと構わない、おしりをけつ飛ばしてでもテレビの前から子どもを追っ飛ばしてしまおうくらいの親の意志をしなければいけません。」

▽あの四角い箱の中でしゃべったり歌ったり踊ったりしている人間がいまあなたにとって必要な他人であるかどうかを見きわめる目を持とう。」

▽これはNHKアナウンサー鈴木健二さんのことばである。

「春眠暁を覚えず、処々に啼鳥を聞く」孟浩然

四月二日に

大民謡ショー

郷土出身の民謡歌手、鈴木正夫さん(菅谷) 荒正吾さん(釣師) 黒はばきたい子さい(岡)、それに特別出演として、「愛ちゃんはお嫁に」で全国を風びした鈴木三重子さんを招き、四月二日に大民謡ショーを行います。

これは、新地町の社会福祉協議会が中心になって、郷土出身の民謡歌手の今後の活動を期待して地元のみなさんからご支援を得られた

四十七年度の

地籍調査地区

四十七年度の地籍調査を行なう地区は、次のようにきまりました。調査前に、土地の境界を確認しておいてください。

四十七年度調査地区

- 大戸地区
- 大坂、岩崎、蒲庭、北追塩入、蒲庭東、木戸脇、南中磯塩入、小沢、北中塩入、吾安谷地、吾

今泉地区

- 蒲庭東、蒲庭、三斗蒔、鹿野、付田、付田山、大堤、浜畑、宮田、山岸、西田、谷地田、塩入、駒ヶ嶺地区
- 蒲庭、蒲庭中

▽とき 四月二日

第一回 午前十時

第二回 午後二時

▽ところ 新地小学校屋体

めに開催するので、これによる益金は四十七年度に建てる「新地町老人憩いの家」の設備調度品の購入資金にします。

また、とくにお年寄りを慰めるため七十五歳以上のかた三百二十名を無料でご招待します。春の一日を、大民謡ショーで楽しみましょう。

毎月一日

交通事故ゼロ

歩行者優先の日

毎月一日は交通事故ゼロ、歩行者優先の日として、交通事故をなくすため、いっそう強力に事故防止を進めることになりました。

毎月一日はできるだけ、マイカー



しまししょう。

また、毎月一日に、駐車自粛区間を設けましたので、ご協力ください。

▽駐車自粛区間

- 福田 明地、横山太郎商店から 斎藤孝商店の間
- 新地 釣師、角屋商店から作間旅館の間
- 駒ヶ嶺 目黒商店から阿部義一さん宅の間

火災の発生しやすい節季です。

火の元にじゅうぶん注意しましょう。

朝の出がけに、夜のおやすみ前に、もう一度たしかめましょう。



もうすぐ

緑の季節

ことしもまもなく、緑の季節を迎えます。

緑の週間、全国植樹祭など各種の緑化運動がくり広げられますが緑化運動は、森林資源や、水資源

をつくるうえで、もっとも大事なことです。

国土緑化運動は、いまや高度工業社会の発展と、調和のとれた人間生活に欠くことのできない「緑」の回復をめざして、たいせつな運動の一つとなっています。

